



新型コロナウイルス感染症対策



のために【3つの補正予算】が成立

主な内容

令和2年9月補正予算	第1弾 877億4,996万2千円	第2弾 21億3,961万1千円	第3弾 414億7,054万5千円
一般会計累計額		2兆3,083億9,014万4千円	

◆感染拡大期に対応した医療体制の整備

- ・入院医療機関の体制整備への助成
- ・専用医療施設の整備への助成
- ・軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の更なる確保
- ・医療機関の持続可能な経営に向けたオンライン研修の実施

◆県内経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応

- ・観光応援キャンペーン等による観光関連事業者への支援
- ・中小企業のオンラインでの販路開拓に向けた支援
- ・就業支援サテライトにおける相談業務等のオンライン化
- ・テレワーク等の推進に伴う庁内ネットワーク環境の強化

◆指定管理者制度導入施設における感染症対策に伴う委託料等の増額

- ・さいたまスーパーアリーナなど27施設

◆感染拡大等に伴う予算執行の見直し

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業
- ・その他のイベント関連事業等

◆市町村に対する高齢者等のインフルエンザワクチン接種費用(自己負担相当額)の補助

- ・令和2年10月1日から12月31日までのワクチン接種分

◆検査・医療提供体制の強化

- ・インフルエンザの流行期における発熱患者増加に備えた抗原検査費用の増額
- ・県が指定する「診療・検査医療機関(仮称)」の体制確保支援 体制整備のための協力金の創設
- ・国が配布する個人防護具の保管・配送
- ・重点医療機関に対する病床確保料の増額

◆生活に困っている人への支援

- ・生活福祉資金の特例貸付の受付期間延長に伴う補助金の増額

◆その他

- ・新型コロナウイルス感染症対策推進基金への積み立て
- ・予備費の増額

無所属 県民会議 最新NEWS

令和2年10月14日(水)に大野元裕 埼玉県知事へ「令和3年度 埼玉県予算編成に関する要望書」を提出しました。

新型コロナウイルス感染症対策の他、

① 全庁あがての危機管理対応

② 県民福祉に注力する予算編成

③ コロナ禍で奮闘する中小企業支援

の3本柱を予算編成に求めました。

主な要望事項一例

- スマート県庁の早期実現 ●朝霞4市への児童相談所の新設
- ICT人材の採用・職員のICT研修の充実 ●自死対策の強化
- 埼玉古墳群の観光活用 ●スクールソーシャルワーカーの加配
- 免許センターへの子供一時預かり施設の開設 等

和光市の地元要望も届けました

- 朝霞地区における児童相談所設置 ●国道254号バイパスの都内延伸について、早期に事業着手すること
- 新河岸川流域の浸水被害の解消と治水安全度の向上を図るよう、新河岸川等の整備促進
- 白子3丁目の土砂災害特別警戒区域で発生した土砂災害によって被害を受けた地域について急傾斜地崩壊対策事業を進めること
- 県道和光インター線の新倉ロータリー(外環側道部分・大泉方面)と和光市駅北口区画整理地と接続する交差点への信号機の早期設置
- 県立和光樹林公園の生物多様性を活かした公園の再生の取組・健康遊具及び複合遊具の増設 など

危機管理対応や
感染症対策要望
県民会議

県議会会派の県民会議(岡重夫代表)は14日、2021年度予算に関する要望書を大野元裕知事に提出した。

県政全体関連の469項目と地元問題関連の229項目の計698項目からなり、感染症対策や全庁的な危機管理対応、中小企業支援などを要望した。

2020年10月15日 埼玉新聞



会派の政策調査会長として、大野知事に予算要望の説明を行いました。



会派全員揃って要望書を提出しました。



和光市の地元要望も届けました。